医療法人社団憲仁会　中井記念病院ニュース

医療安全対策研修

『確認の基本４カ条』実施報告

日時　：令和７年12月１日（月）～12月31日（水）
対象者　：全職員
目的　：医療現場における事故防止の基本である確認作業について学び、自部署での１場面を通して基本技術を習得する。
形式　：紙面形式＋グループディスカッション

令和７年度第２回医療安全管理研修を実施いたしました。今回は紙面形式とグループディスカッションを行い、自部署での一場面を振り返ることで内容を深められるように取り組みました。

当院では不注意や思い込みによるインシデント・アクシデントは少なからず報告されるという現状があります。そうした医療事故やヒューマンエラーを未然に防ぎ、安全性を高めていくために確実な確認を促すことはとても有効であると考えられます。**“人はだれでも間違える”・・・・・それならばミスを発見して防ぎ、患者も自分たちも守るスキルを身につけよう！**そうした目的をもって**『確認の４カ条』をテーマ**としました。

確認の基本４カ条は「記憶ではなくものと照合」「指をさす」「声に出す」「自分のペース」で、それぞれの項目ごとにポイントを整理しながら学びを深めました。さらに、学んだ内容を働く現場の一場面でどのように活用出来るか、各部署がディスカッションを行いました。

例えば医事課では、来院された患者とはじめに関わります。患者誤認を起こすことのないように「フルネームでの確認」「保険証や外来基本票などの手元資料との確認」「電子カルテ照合場面」等で確認の基本４カ条を意識した対応方法について再認識することができました。臨床検査科・放射線科では「フルネーム・生年月日の確認」「ベッドネームやリストバンドの活用」「患者情報の効果的な確認方法」について意見交換がされました。リハビリテーション科では安全確認として「車椅子ストッパーの状態」「点滴などのデバイスの状況」「安全対策予防具の利用」等、直接ケアする中で確認する場面を抽出し検討されました。さらに病棟ではインシデント報告の多い「薬剤投与場面」に着目し検討された内容が報告され、院内の様々な職種が自部署での“安全”について考え、職員ひとりひとりが確認の重要性を改めて意識することができる機会となりました。

さらに、中井記念病院では薬剤部からの「医薬品の安全使用のための研修」や診療放射線科からの「診療放射線の安全利用のための研修」等それぞれの部門が中心となって行っています。病院全体で安全への意識をたかめ、より安全で質の高い医療が提供できるよう職員全体で取り組み続けていきたいと思います。

医療法人社団憲仁会中井記念病院

医療安全管理委員会